



岩手県環境保健研究センター

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡一丁目 11-16

TEL 019-656-5666 FAX 019-656-5667

E-mail CC0019@pref.iwate.jp

<http://www.pref.iwate.jp/kanhoken/>



＝ お問い合わせ先＝

【担当】地球科学部 部長 佐藤卓・上席専門研究員 小山田智彰

絶滅危惧植物

アツモリソウ野生株の移植に国内初成功

岩手県環境保健研究センターでは、絶滅が危惧されるアツモリソウの野生株の移植に国内で初めて成功し、その結果について自然環境復元学会第17回全国大会で発表しました。

今回の取組みにより、まとまった野生株の交配によって遺伝子的多様性が復元し、現在よりも健全なアツモリソウの自生地の再生が期待できます。

1 取組の概要

当所地球科学部の小山田智彰上席専門研究員らは、山林開発の行われる山に確認されたアツモリソウの保全について、技術指導を行っています。そこで、自生地の保護措置に加えて、国内初となる野生株の移植に成功いたしました。

2 取組の意義

本県のアツモリソウ自生地は、1地点当たりの株数が少なく、開花も稀であることから、現在生育している個体も自家受粉によって発芽した可能性が高く、このような状態では、遺伝子的多様性が損なわれ、やがて絶滅してしまうことが危惧されます。

今回、開発区内の野生株を非開発区の自生地周辺に移すことで、まとまった野生株の交配によって遺伝子的多様性が復元し、現在より健全なアツモリソウ自生地が再生することが期待できます。



写真 アツモリソウ

3 取組の詳細

(1) 生息域内保全

試験の為に仮移植した栽培株に執着する大型哺乳類（ニホンジカ、ツキノワグマ）や、ネズミによる食害が確認されたため、シカ柵の設置や、忌避剤の散布などを行いました。

また、自生地に適切な量の光が入るように光環境を整備しました。

(2) 移植

自生地の分布状況や生育状況を確認し、移植の候補地を選定のうえ、栽培されているアツモリソウを用いて仮移植を行い、移植地を決定しました。また、移植の3年前から栽培地で移植を繰り返す、作業内容の確認を行いました。

2016年6月と10月にアツモリソウ野生株を各1株移植しました。経過観察の結果、生存を確認しています。アツモリソウ野生株の移植成功は国内初の事例となります。

～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～

（参考1）アツモリソウ

高さ20～40cmになる多年草。5～7月、茎頂に球形で淡紅色の花を1個つける。

アツモリソウは、岩手県内に自生する植物で唯一国の「種の保存法」による国内希少野生動植物種に指定されている。岩手県の自生地は、個体数の減少が著しく、県内各地域で絶滅している。

（参考2）自然環境復元学会

2009年12月に環境再生に関する総合的専門学会として、環境分野において連携の軸となる開かれた学術機関への発展を目指し設立。